

科学事業



Scientific Solutions Division



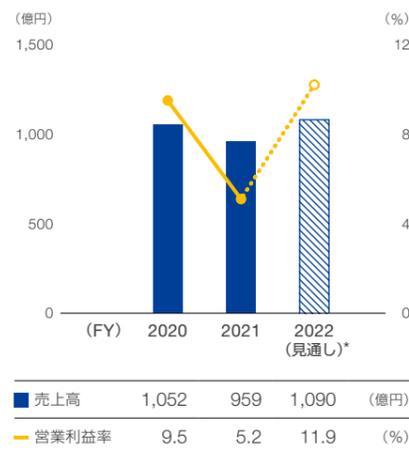
科学研究、病理研究や
製造・社会インフラの検査に
革新的な製品・サービスを提供します”

サイエンティフィックソリューションズディビジョンヘッド

斉藤 吉毅



通期実績



*2021年8月5日公表見通し

FY2021売上構成比



主な製品



事業環境

- 新型コロナウイルス感染症の影響による直近の市場環境は2021年3月期の下半期より回復基調
- 大学や研究所、病院等ライフサイエンス研究分野における予算執行の進展、ならびに5G通信関連での半導体・電子部品市場における大幅な需要拡大
- 中長期にわたるターゲット市場の継続的拡大、デジタル化に伴う提供価値の深化と新規需要の増大
- 産業分野におけるIoT関連を背景とする半導体・電子部品関連産業の市場拡大や、ライフサイエンス研究への投資拡大、病理診断のデジタル化、再生医療支援関連市場の活性化

市場シェアとポートフォリオ

	生物顕微鏡	工業用顕微鏡	工業用内視鏡	非破壊検査機器	蛍光X線分析計
分野	ライフサイエンス	産業			
シェア	40~50%	30~40%	35~45%	30~40%	25~35%
競合他社	Nikon, Zeiss, Leica	Nikon, Zeiss, Leica	Waygate Technologies	Waygate Technologies, Zetec, Eddyfi	Thermo Fisher
使用用途	生物・医学研究、病理研究に貢献	産業の効率化、品質向上、暮らしの安全・安心に貢献			
	病気の解明をはじめとした生命科学の基礎研究、臨床病理研究等	半導体、電子部品、自動車部品の検査等	航空機エンジンの検査等	プラント、パイプラインの検査等	資源・環境調査、RoHS対応等
顧客群	ライフ研究 クリニカル(病理研究) 再生医療支援・創薬支援	製造/インフラメンテナンス/環境・天然資源			

分野別の戦略・進捗・今後の取り組み

科学事業は、従来からの高品質なハードウェアに加え、ワークフロー全体の効率を改善するソリューションにより、顧客の真のニーズを満たし、期待を超える価値の創造を目指します。また、事業の収益性改善に向けた機能強化に取り組むとともに、持

続的成長のための事業基盤整備を進めています。ライフサイエンス分野は医学研究・病理・再生医療に大きく貢献し、産業分野のIoT等先端技術を活用した価値提供は、当社の事業全般への展開が期待されます。

ライフサイエンス

戦略	進捗と今後の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ● ライフサイエンスリサーチ、クリニカル、細胞培養モニタリングの各顧客群に対するソリューションの確立 ● ハードウェアに加え、基礎研究ワークフローへの新しい価値提供としてデジタルソリューションや、デジタル病理診断のワークフローソリューションを提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 細胞培養モニタリングシステム「OLYMPUS Provi CM20」を用いて、データの取得や管理、共有から解析等の研究ワークフローを一元管理できるクラウド活用型サービスの開発を目指した共同研究等の取り組みを開始

産業

戦略	進捗と今後の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ● 製造、インフラ・メンテナンス、環境・天然資源の各顧客群に注力し、IoTやクラウド技術を活用した自動化・省力化のソリューションを確立 ● 個々の顧客のニーズにフィットするシステムやワークフローのソリューションを提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 製造、インフラ・メンテナンス、環境・天然資源等の将来成長が見込まれる市場に向けて、顧客の生産性向上に貢献する「Olympus Scientific Cloud™ (OSC)」を活用した更なるソリューションを開発中

科学事業の分社化による事業成長

2021年6月、当社は科学事業の分社化に関する検討を開始いたしました。科学事業の特性に合ったグローバルな事業一貫体制および機動的かつ迅速な意思決定を可能にする経営体制を確立することで、科学事業の持続的な成長と収益性向上を加速できると考えています。